

令和2年度 洛西中学校ブロックの小中一貫教育

目指す子ども像（ブロック共通）

『夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成』

重点目標（児童生徒の共通する課題より）

- （1）コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する。
～つながる・深める・伝え合う～
- （2）児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。

高大連携

A部会（教科別部会）

9教科（国，社，数，理，英，音，美・図工，技家，保体）で実施

- ①重点目標に照らした授業の実践
- ②各種調査の分析と課題の掘り起し
- ③各教科での授業研究実践

B部会（分野別部会）

- ①道徳教育推進部会
- ②生活向上・学習規律部会
- ③小中一貫・調整部会
- ④総合育成支援教育部会
- ⑤保健・養護部会
- ⑥学校事務部会

洛西中学校学校教育目標

自立・貢献・夢さがし
～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～

目指す子ども像

- ・「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を実感し、夢や希望に向けて主体的に学習に取り組む生徒〈知〉
- ・自分や仲間の良さや違いを認め尊重し、支え高め合える生徒〈徳〉
- ・命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るく生き活きと生活できる生徒〈体〉

本年度の方針

- （1）重点目標を意識した授業実践や行事等の取組の徹底
- （2）重点目標達成に向けて、学校の取り組みを道徳教育の視点から見つめ直す。（道徳の授業、評価の研究や連携の中で）

境谷小学校学校教育目標

自ら学び つながり 高め合う境谷の子
～「知・徳・体」の調和のとれた子の育成～

目指す子ども像

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりの心を持ち、協力する子
- ・心も身体も健やかで、たくましい子

新林小学校学校教育目標

自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成

目指す子ども像

- ・あきらめずに粘り強く挑戦できる子
- ・進んであいさつができる子
- ・しっかり聞き、しっかり話せる子
- ・約束・ルール・時間を守る子
- ・自分も人も物も大切にできる子

保幼連携

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

学習支援部

安全支援・環境支援部

学校関係者評価等

小中三校合同 学校評価検証会議

地域のニーズ

生徒・保護者のニーズ

時代のニーズ

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力								
◆コミュニケーション能力								
※コミュニケーション能力を発揮するために、思考力や判断力、表現力等の育成も一方では必要である。 ※自分の考えをもち、伝える。相手の考えを聞く。考えが違う相手とも折り合いをつけ、コミュニケーションがとれる。 そのためには、「話す」「聞く」などの力を育成するとともに、「話し合い活動」の充実が必要である。								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
準備期（話し合いの場に慣れる）	準備期（話し合いの場に慣れる）	形成期（話し合い活動の基礎を知る）	形成期（話し合い活動の基礎を知る）	成長期（計画的に話し合い活動を行う）	成長期（計画的に話し合い活動を行う）	確立期（的確な話し合い活動を行う）	成熟期①（自分の考えを広げる話し合い活動を行う）	成熟期②（互いの考えを生かし合う話し合い活動を行う）
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動								
＜新林・境谷小学校の取組＞※道徳の授業を小小・小中連携の軸として「話し合い活動」の充実 ◆互いの話を集中して聞き、話題について伝え合う。 ・相手意識をもつ。（ペア学習） ・丁寧な言葉づかいで話し合う。 ※「話し合い活動」の充実にあたり、道徳の授業だけでなく各教科・領域での「話し合い活動」の場の設定が必要である。 よって、昨年度までと同様に、教科・領域での「話し合い活動」を取り入れた授業実践や小中が連携し研究授業等を行う。								
＜洛西中学校の取組＞※「話し合い活動」の充実 話題や話の方向性を捉えて的確に話し合う。 ・相手の意図を考えながら聞く。 ・相手の発言に注意して話したり聞いたりして、自分の考えをまとめる。 相手の立場や考えの違いを踏まえ、尊重しながら目的に沿って話し合う。 ・考えを比べながら聞く。 ・互いの発言を検討して自分の考えを広げる。 互いの考えを生かし、課題の解決に向けて話し合う。 ・表現の工夫を評価して聞く。 ・話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫する。 ・相手の考えを受け入れながら、自分の考えを深める。								
＜中学校ブロックとしての取組＞【重点目標】コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う～（3校共通） ◆小中3校が共通して、各教科・領域での各授業の中に言語活動の場面を意識的に設定した実践を行い、小中合同研修会でのその実践交流をする。（授業力向上） この記述「3校による授業研修会」を削除しました。								

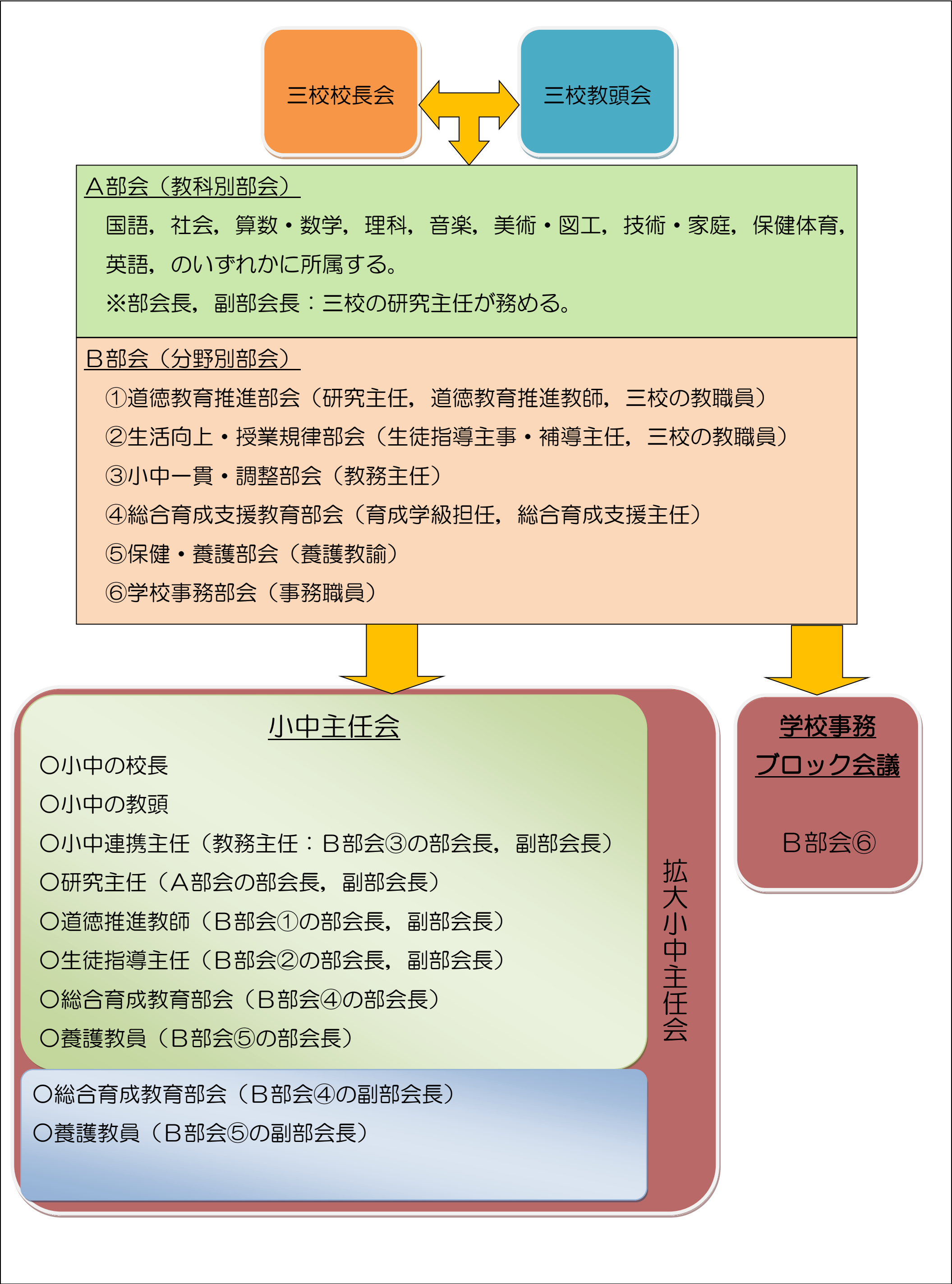
義務教育卒業時につけたい力								
◆主体的に学び、行動する態度 ◆互いに思いやり、認め合い、助け合う態度 ◆何事にも一生懸命頑張り、粘り強くやり抜く態度 ※これらの態度を育成するために、豊かな心の涵養や自己有用感や自己肯定感などの自尊感情を醸成することが大切である。								
学年または学年区分ごとにめざす姿			理性の獲得期（抽象的な考え方や客観的なものの見方ができる。自分に対する肯定的な意識が持てる。集団の中で自分の役割と責任を果たす。他者への思いやりなどが芽生える。）			自立への移行期（論理的に物事を考え、多様な他者の考えを受け入れられる。自分という存在を意識し、自らの生き方を模索し始める。社会の一員として他者と協力し、自律的・貢献的な行動をとることができる。）		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動						＜洛西中学校の取組＞ あいさつの励行、基本的生活習慣の確立、学習規律の徹底、道徳教育の充実（特別活動等との関連づけ）、生徒会活動の活性化（主体的・自発的な活動、自己指導能力の向上）、支え合い高め合う集団づくり、キャリア教育（ファイナンスパーク学習・1日福祉体験学習・生き方探究・チャレンジ体験学習他）、非行防止教室・ケータイ教室（情報モラル学習）、防煙教室、薬物乱用防止教室など		
＜新林小学校の取組＞ ・あいさつの励行 ・時間管理 ・基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん） ・学習規律の徹底 ・道徳教育の充実 学校行事等を通しての達成感の積み重ね、全校合唱や読書活動など心の豊かさを培う取組、たて割り活動を通しての協力意識の涵養								
＜境谷小学校の取組＞ ・あいさつの励行 ・基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん） ・学習規律の徹底 ・道徳教育の充実 ・「そろえる」の徹底 たてわり活動を通したなかま意識・協力意識の涵養、自分や友だちのいいところ見つけを通した自己肯定感・他者尊重意識の涵養								
＜中学校ブロックとしての取組＞ 【重点目標】自己肯定感や自己有用感などの自尊感情の育成（3校共通） ◆「あいさつ・時間・そうじ」を大切に実践する取組 ◆家庭学習の習慣化 ◆児童生徒理解の取組（小中合同研修会） ◆安心感と成就感のある学級づくり ◆生徒会が主体となり、児童会と交流する取組 ◆洛西中ブロック小中3校の生徒指導共通理解事項を作成する取組								

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
あいさつ 言葉遣い	大きな声であいさつや返事をする。	大きな声であいさつや返事をする。	自ら進んで、大きな声であいさつや返事をする。	自ら進んで、大きな声であいさつや返事をする。	自ら進んで、相手を意識したあいさつや言葉遣いをする。	自ら進んで、相手を意識したあいさつや言葉遣いをする。	自ら進んで、相手を意識したあいさつや言葉遣いをする。	自ら進んで、その場に応じたあいさつや言葉遣いをする。	自ら進んで、その場に応じたあいさつや言葉遣いをする。
そうじ	隅々までしっかりとそうじをする。	隅々までしっかりとそうじをする。	自ら進んで、隅々までしっかりとそうじをする。	自ら進んで隅々までしっかりとそうじをする。	後片付けにまで責任をもち、まわりと協力をして隅々まできれいにそうじをする。	後片付けにまで責任をもち、まわりと協力をして隅々まできれいにそうじをする。	後片付けにまで責任をもち、まわりと協力をして隅々まできれいにそうじをする。	まわりと協力しながら、自他の役割を問わず、責任をもってきれいにそうじをする。	まわりと協力しながら、自他の役割を問わず、責任をもってきれいにそうじをする。
時間	時間を守って行動する。	時間を守って行動する。	時間割や予定を知り、時間を守って行動する。	時間割や予定を知り、時間を守って行動する。	自分から進んで時間割や予定を確認し、遅れないよう5分前に行動する。	自分から進んで時間割や予定を確認し、遅れないよう5分前に行動する。	自分から進んで時間割や予定を確認し、遅れないよう5分前に行動する。	あらゆる場面で先を予想し、計画的に遅れないよう余裕をもって行動する。	あらゆる場面で先を予想し、計画的に遅れないよう余裕をもって行動する。

＜ S S R生活プラン ～洛西の子どもたちの約束～ ＞

- ①大きな声であいさつしよう！
- ②しっかりとそうじをしよう！
- ③時間を守って行動しよう！
- ・その場に応じたあいさつや言葉遣いをしよう。
- ・自らが気持ちいいと感じるあいさつをしよう。
- ・手が空いたときは、周囲を見て自ら掃除をしよう。
- ・隅々まで進んできれいにしよう。
- ・後片付けにまで責任を持とう。
- ・自分から時間割や予定を確認して行動しよう。
- ・5分前に行動しよう。
- ・時間に余裕をもって行動しよう。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- ◆「学校だより」及び「ホームページ」により，洛西中ブロック小中一貫教育の取組を周知する。（「学校だより」は地域の目に届く掲示板にも掲載すると。）
- ◆教育課程説明会，入学説明会や学校運営協議会，地生連総会等で，保護者や地域の方へ小中一貫教育の取組を説明する。
- ◆「学校評価アンケート」の項目（児童生徒・保護者・学校運営協議会委員用）を小中３校で統一する。そのアンケート結果や全国学力・学習状況調査，確プロ・ジョイプロなどの学力情報（分析結果等）を基に，成果の検証を行い，学力向上や２つの重点目標を達成するために必要な手立てを，学校運営協議会の委員とも共有し，具体的に家庭や地域として協力できることを一緒に考える。